

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 年 月 日

事業所名: ゆーかりの森

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員に応じた十分なスペースを確保している。	子どもが体を動かすスペースがあつてよい。	
	2 職員の適切な配置	人員を適切に配置している。	・担当職員以外をよく知らない。 ・担当職員の急な休みは困る。	・所属職員がわかるよう工夫をする。 ・可能な限り、振替を行う。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	車椅子を利用しているお子さんも施設利用ができるようにエレベーターを設置し各部屋も引き戸にしている。	(各部屋に)動物の絵が描いているので子どもが分かりやすい。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日、整理整頓と清掃を行っている。	とてもキレイにしている。	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	適宜、話し合いを行っている。月数回、スタッフミーティングを行っている。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	他機関との連携により週1回のスーパーバイズを受けており、訓練内容のアップデートを定期的に行っている。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	不定期ではあるが月一回実施している。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	初回来所の際には担当職員がお子さん、保護者様には児発管が聞き取りを行っている。		
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	上記の後に担当者会議を実施し、支援内容を決定している。		
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	担当者会議の内容に沿って記載している。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画に応じて実施している。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	集団活動は各専門職の意見をくみ取り計画している。	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	集団活動においては季節感を入れて計画している。	色々な教材を使っている。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	集団活動では生活年齢や発達年齢を考慮し年間プログラムを立案し創意工夫を行っている。	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	集団活動は支援前に打ち合わせを徹底している。	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	口頭での情報交換、また月数回のスタッフミーティングにおいて口頭での情報交換や日々の記録で共有している。	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	カルテやパソコンソフトを活用し実施している。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	3、6ヶ月に一度、モニタリングを行い、スモールステップを変更して行っている。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	積極的に参加している。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	相談支援事業所主催の担当者会議に参加し情報交換を行い、実施している。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療機関併設のため一体化してケアを行っている。	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	支援者会議等に出席し、情報共有に努めている。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	開所して間がないため、実施できていない。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関との連携等を心掛けている。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現状、実施していない。	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	行事を行っていない。 (個別、小集団での支援が基本のため)	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	初回計画や計画変更時は都度、説明を行っている。	その都度、丁寧に説明を受けている。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	以前の計画書とその状況報告、その後の計画変更と繋がるように説明を行っている。	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ニーズに応じて実施している場合もある。	
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	個別活動では支援中も同席していただいている。 集団活動では活動終了後、活動中の写真とともに報告をしている。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	声掛けをしたり、必要であれば支援内容を変更したりし対応している。	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在、準備中。	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	書類を作成し職員への周知徹底に努めている。	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	都度、意見を伺っている。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	会報の発行はしていないが、活動のお知らせ等は施設内に張り出している。	見たことがないのでわからない。	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報に関しては職員に周知徹底を呼びかけている。		
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルは存在するが、保護者への情報提供が行えていない。		保護者への情報提供が行えるように対応する。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	対応マニュアルに準じ、実施できるように今後、対応する。		
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	情報収集を行い、周知できるよう対応している。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	拘束の必要性がないため記載していない。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事の機会はないが、アセスメントの際に聞き取りを行っている。		
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	スタッフミーティングの際に事例を周知徹底し再発防止に努めている。		